石巻専修大学
「石巻専修大学」ホームページ https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

経営・庄子ゼミ

アイデア部門 特別賞を受賞

第3回仙台市交流人口ビジネスコンテスト

恋をテーマに提案

経営学部・庄子真岐ゼミの学生4人が、仙台市主催の「第3回仙台市交流人口ビジネスコンテスト」アイデア部門で特別賞を受賞した。

同コンテストは、市の交流人口増加に寄与する事業やアイデアを募るもので、アイデア部門には138件の応募があった。書類審査の結果、庄子ゼミは上位5件に選ばれ、2月7日に行われたプレゼンテーション審査に出場した。

2年次生の佐貝和希さん（宮城県石巻好文館高）、細川明依さん（岩手県盛岡誠桜高）、3年次生の佐々木優衣さん（宮城県桜坂高）の4人が提案した事業名は、「言葉に想いを込めれば、木々に色が染まる――杜の都　仙台――」。

デートスポットが多い仙台市を「恋を育む街」として打ち出し、県内や隣接県からカップルを呼び込むアイデアをまとめた。高校生や大学生をターゲットに、告白スポットを含めたさまざまなデートコースを提案。恋を盛り上げるグッズの製作と販売も行う。来訪者と地元住民・施設の交流を促すなど、地域活性化につながる仕掛けも盛り込んだ。

4人は、庄子ゼミでの実践的な活動を通してスキルを磨いてきた。プレゼン審査で発表を担当した佐貝さんは「今回が初めてのコンテスト参加で不安もあったが、自ら進んでアイデアを出すなど積極的に取り組むことができた。社会に出てからも生かせる貴重な経験になった」と語った。

発表スライド

人間学部　ものづくり教室に協力

石巻の小学生をサポート

人間学部の学生10人と田中秀典、横江信一両特任教授が12月23日、石巻市立中津山第二小学校で行われた「ものづくり教室」（主催＝石巻市桃生地区小学校校長会・SSTA宮城支部）で講師を務めた。

同教室は、来年度同じ中学校に入学する桃生地区の三つの小学校に通う6年生の交流を目的に実施。参加した52人の児童は班ごとにモーターカーの組み立てに挑戦した。

難度の高い作業に手こずる場面もあったが、小学校教員を目指す本学学生が丁寧にサポートし、児童たちのものづくりと友達づくりに一役買った。

4月から教職に就く大坂朋也さん（4年次・宮城県古川学園高）は、「子どもたちの一生懸命な姿や完成したときの笑顔が印象的だった。講師を務めたことで、事前準備の大切さなど教員としての心構えも再確認できた」と話した。

モーターの原理や構造を説明する学生

機関車製作に奮闘中　関内さん（理工2）

理工学部機械工学科2年次生の関内虎佑さん（宮城県東北学院高）が、亀谷裕敬教授の指導のもと、機関車（乗用鉄道模型）製作に挑戦している。

元々ものづくりが好きで、「在学中に何かに挑戦したい」と考えていた関内さんは、亀谷教授から機関車製作プロジェクトの話を聞いて興味を持ち、今年度から取り組み始めた。機関車製作には機械工学の知識が広く求められ、実践を通じて機械力学、材料力学、熱力学、設計、計測、制御などの応用力が身につく。

マニュアルがないため、自ら設計図を考えるところから始め、一つ一つの部品もNC工作機械などを使って自作している。エンジニア志望の関内さんは「失敗も多いが、トライアンドエラーを繰り返すことで今までできなかったことができるようになった」と自身の成長を実感している。

亀谷教授は、「バーチャルではないリアルなものづくりを経験することで、真のエンジニア魂が養われる。意欲ある学生の挑戦をサポートしたい」と話す。

製作中の機関車は実物の約10分の1サイズ。2023年完成予定で、石鳳祭での展示を目標にしている。

亀谷教授の指導を受けながら部品を製作する関内さん（左）

3年次生対象 オンライン企業説明会 3月に開催

東北を中心とする198の企業・団体が参加する石巻専修大学オンライン企業説明会を開催する。

【開催日】3月9日（水）▽10日（木）▽14日（月）▽16日（水）▽17日（木）

【開催方法】オンライン（Zoomなど）

【参加対象】2023年3月卒業・修了予定の石巻専修大学、専修大学の学生

※申し込み方法、参加企業・団体の情報などはin Campusに掲載。

問事務課進路支援係☎0225・22・5019

4年次生に聞く

卒業を控えた4年次生に、本学での日々や就職活動、今後の目標などを聞いた。

日本とベトナムを結ぶ懸け橋に

グエン・アン・ダットさん
経営学部経営学科

日本語学校の先輩から「施設や環境が素晴らしく、先生方は優しい」と勧められて、本学に入学しました。

在学中は日本語の学修に意欲的に取り組みました。日本語の力が足りないと、授業や課題を十分にこなすことができないからです。当初は先生の話が聞き取れずに苦労しましたが、経営学科には留学生と日本人学生が協力して取り組むグループワークが多く、そのおかげで徐々に日本語にも慣れ、コミュニケーションが取れるようになりました。先生方の応援やアドバイスにも大いに助けられました。

1年次生のときに受けたマーケティングの授業が楽しく、李東勲ゼミに入りました。卒業研究では「地元の特産品の知名度を向上させるための新製品開発」をテーマに、ベトナム風海苔煎餅の開発について考察し、商品のレシピも考えました。

就職活動に当たっては「ベトナム」と「マーケティング」に関連した企業を軸に据えました。大学で学んだことを生かしながら経験を積み、将来はベトナムと日本との間で貿易を行う会社を起業することが目標です。

（ベトナム出身、内定先＝㈱フレッシュおの）

サークルを立ち上げ多くを学ぶ

渡部　晃士さん
人間学部人間文化学科

1年次生のときに、震災復興を目的にした大規模な自転車イベント「ツール・ド・東北」が本学を会場に開催されました。それを見て感動した私はロードバイクを購入し、サイクリング愛好会を設立。理工学部の坂田隆教授（当時）に部長をお願いして活動を開始しました。

自治体の自転車イベントに協力するなど精力的に活動した結果、設立初年度にして学内表彰で敢闘団体賞を受賞。今までなかったものを一から立ち上げ、運営するという経験を通じて、多くのことを学びました。

人間文化学科の魅力は、人文科学から自然科学まで幅広く学べる点です。私は、そのなかでも科学的な思考法を身につけたいと考え、山内武巳ゼミに入り、「雑然とした環境が知的生産性に与える影響」をテーマに卒業研究に取り組みました。

就職活動は3年次生の6月から始め、インターンシップでは多くの業界を知りました。本選考ではサークル活動を原体験とした地方創生の軸に当てはまる企業を受けました。6社から内定を頂き、地方創生に熱心で新しいことに積極的に取り組む企業への入社を決めました。

（茨城県第一学院高、内定先＝東日本電信電話㈱〈NTT東日本〉）

令和3年度 学位記授与式のご案内

日時：3月20日（日）

午前の部　10:30 開式予定
理工学部／人間学部
理工学研究科

午後の部　13:30 開式予定
経営学部
経営学研究科

場所：石巻専修大学体育館

注意事項
■ ご父母・保護者の参加は学生1人につき1人のみ。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によって変更の可能性があります。
■ 同窓会・育友会共催の「卒業を祝う会」は中止となります。